

富山県立石動高等学校 シラバス

科目名	化学基礎	単位数	2	学科	普通	学年	1
使用教科書	7実教 315 化学基礎 新訂版		副教材等	実教出版 アクセスノート化学基礎 改訂版			
科目の内容と到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・化学が物質を対象とする科学であることや、化学が人間生活に果たしている役割を理解できる。 ・原子の構造及び電子配置と周期律の関係を理解できる。 ・化学反応の量的関係、酸と塩基の反応及び酸化還元反応の基本的な概念や法則が理解できるとともに、日常生活や社会と関連付けて考察できる。 						
学 習 計 画 等							
学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い ・ 目 標			備考(学習活動の特記事項・副教材使用等)	
1	4	1章 物質の構成 1節 物質の探求 1 物質の種類と性質 2 物質と元素 3 物質の三態と熱運動	<ul style="list-style-type: none"> ・物質を成分によって「混合物、純物質、化合物、単体」に分類できることを知り、各物質の特徴を知る。 ・物質の三態変化について理解する。 			問題集p.2～11	
	5	【中間考査】 2節 物質の構成粒子 1 原子の構造 2 イオンの生成 3 周期表	<ul style="list-style-type: none"> ・原子の大きさや構造について理解する。 ・電子の配列と性質との関わりについて理解する。 			問題集p.12～23	
	6	2章 物質と化学結合	<ul style="list-style-type: none"> ・原子が結合する仕組みを知る。 ・元素の組み合わせによって結合の仕方が違うことを理解する。 ・各結合の仕組みを理解し、その結合が生み出す物質の性質を知る。 			問題集p.24～37	
	7	【期末考査】					
2	9	3章 物質の変化 1節 物質と化学反応式 1 原子量と分子量・式量 2 物質質量 3 溶液の濃度	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の量を原子の数で表す方法を学び、質量、体積との関係について理解する。 			問題集p.38～53	
	10	【中間考査】 4 化学反応式 5 基本法則に関連した化学史	<ul style="list-style-type: none"> ・化学変化の前後で物質の量がどのように変化するかを理解する。 			問題集p.54～75	
	11	2節 酸と塩基 1 酸と塩基 2 水素イオン濃度とpH 3 中和反応と塩	<ul style="list-style-type: none"> ・酸、塩基とは何かを知る。 ・酸性、塩基性の程度が水素イオン濃度によって決まることを知る。 ・中和反応を理解し、中和反応を利用して溶液中に存在する酸・塩基の量を調べることができることを学ぶ。 				
	12	【期末考査】					
3	1	3節 酸化還元反応 1 酸化と還元 2 酸化剤と還元剤 3 酸化還元の起こりやすさ 4 身のまわりの酸化還元反応	<ul style="list-style-type: none"> ・酸化・還元を酸素や水素のやりとりだけでなく、電子のやりとりで定義できることを学ぶ。 ・金属や薬品の工業的製法や電池などに酸化還元反応が利用されていることを知り、その仕組みについて学ぶ。 			問題集p.76～93	
	2						
	3	【学年末考査】					
提出物・課題等 ノート、問題集、プリント							
評価方法 ・各学期の考査評価 ・課題プリントや実験での取り組み状況等の総合評価							